

# 横須賀市中小企業景況レポート

第54号（令和8年4月号）

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市がさらに追加調査しました。

横須賀市中小企業景況レポートは、3か月に1回発行しています。

【市ホームページからもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoureport/yokosukasikeikyouripoto.html)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoureport/yokosukasikeikyouripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：237社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査129社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和7年10月～12月の景況感（調査時点 令和7年12月1日）  
今期・・・令和8年1月～3月の景況感（調査時点 令和8年3月1日）  
次期・・・令和8年4月～6月の景況感（調査時点                   "                   ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページにD I 値の説明あり）

## 景況及び4項目の調査結果（全業種）

\* D I 値調査結果は裏面に記載

\* 【 】は今期のD I 値を記載

**全業種の景況感は、前期【△11P】から【△16P】となりました。**

今期の景況感は、建設業【△7P】が9Pやや向上しましたが、製造業【11P】、卸・小売業【△28P】、サービス業【△29P】がそれぞれ6P、6P、12Pやや低下しました。不動産業【7P】は横這いの状況です。

項目別では、売上額【△12P】は、6Pやや低下しました。収益【△19P】、雇用人員【△32P】、資金繰り【△15P】は横這いの状況です。

昨年同期（令和7年1月～3月）との景況感比較は、今期構成比【△16P】で、前期構成比【△11P】と比べ、低下しました。

景況感は依然として原材料費高騰による収益の影響や人手不足の声が聞かれます。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値がDI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

向上 (15P以上)	やや向上 (6P~14P)	変わらない (△5P~5P)	やや低下 (△6P~△14P)	低下 (△15P以下)
↑	↗	→	↘	↓

## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

### (1) 製造業 景況感 【 11P <やや向上> ↗ 】 (前期比 △6P)

前期と比べ、売上額【△5P】、収益【△9P】は、それぞれ26P、20P大幅に低下しましたが、雇用人員【△32P】は16P向上しました。資金繰りは、横這いの状況です。

次期は、雇用人員がやや向上の見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・価格転嫁について、当社含め同業他社が揃って互いの動向を注視しており、膠着状態となっている。
- ・依然として原材料（金、銀、銅、鉄）の高騰は続く見込みだが、オンタイムで価格転嫁が進むわけではないため、それまでのあいだは自社で取り込むしかない。

### (2) 建設業 景況感 【 △7P <やや低下> ↘ 】 (前期比 9P)

前期と比べ売上額【△7P】、資金繰り【△13P】は、それぞれ10P、11Pやや向上し、収益【△20P】、雇用人員【△46P】は、横這いの状況です。

次期は、売上額、収益が大幅に向上する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・最近では材料の値上がり分も見積りに反映されるようになり、利益は確保できている。資材高騰を受け建築を控える施主が増加した。
- ・複数の取引先から安定した受注により業況堅調に推移するが、職人不足もあり外注費も増加している。採用活動を進めるも定着しない状況。

**(3) 卸・小売業 景況感 【  $\Delta 28P$  <低下>  】 (前期比  $\Delta 6P$ )**

前期と比べ、収益【 $\Delta 22P$ 】、資金繰り【 $\Delta 15P$ 】は、それぞれ7P、6Pやや向上しましたが、雇用人員【 $\Delta 29P$ 】は、7Pやや低下しました。売上額【 $\Delta 12P$ 】は横這いの状況です。

次期は、すべての項目が横這いの見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・仕入価格、人件費、光熱費の高騰が当面続くと思われ、先行きは不透明。
- ・仕入値は上昇しているが、価格に転嫁できているため、利益率は維持できている。更なる仕入値の上昇も見据え、流通経路の見直し等を含めた経費削減が課題。

**(4) 不動産業 景況感 【 7P <やや向上>  】 (前期比  $\Delta 1P$ )**

前期と比べ、売上額【7P】は、24P大幅に向上し、収益【7P】は15P向上しました。雇用人員【 $\Delta 14P$ 】、資金繰り【0P】は横這いの状況です。

次期は、雇用人員、資金繰りがやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・投資用物件は戻りつつあるものの、材料費高騰による高めの価格設定、景気先行き不透明感、及び今後の金利動向に対する不安により一般住宅は顧客側も様子をうかがっている状況が続いている。価格の動向に注意し、商品を見極めながら仕入・販売をしていく。

**(5) サービス業 景況感 【  $\Delta 29P$  <低下>  】 (前期比  $\Delta 12P$ )**

前期と比べ、収益【 $\Delta 28P$ 】は、15P低下し、売上額【 $\Delta 22P$ 】、資金繰り【 $\Delta 25P$ 】はそれぞれ11P、10P低下しました。雇用人員【 $\Delta 29P$ 】は、横這いの状況です。

次期は、売上額が大幅に向上し、収益も向上する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・IT関連はどこも人手不足。対面での大学生対象の合同企業説明会が減り、求人に窮している。
- ・足元の業況は、観光需要の回復基調を背景に週末を中心として集客は持ち直しの動きがみられる。一方、平日の稼働率が低位で推移していることが課題。仕入れ価格の高止まりや光熱費等の固定費増加が収益を圧迫している。

DI値 調査結果

前・・・前期 令和7年10月～12月の景況感（調査時点 令和7年12月1日）  
 今・・・今期 令和8年1月～3月の景況感（調査時点 令和7年3月1日）  
 次・・・次期 令和8年4月～6月の景況感（調査時点 令和8年3月1日）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	178	29	30	58	12	49
今期	237	35	41	69	14	78
次期	237	35	41	69	14	78

(単位：ポイント)

業種 項目	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況																		
景況全般について総合的な概況をお聞きしました。																		
良 い(A)	15	14	16	31	35	29	17	15	27	7	7	9	8	14	14	14	8	13
変わらず	59	56	64	55	41	53	50	63	63	64	58	63	92	79	79	55	55	66
悪 い(B)	26	30	20	14	24	18	33	22	10	29	35	28	0	7	7	31	37	21
DI値(A)－(B)	△11	△16	△4	17	11	11	△16	△7	17	△22	△28	△19	8	7	7	△17	△29	△8
今－前 / 次－今	△5	12		△6	0		9	24		△6	9		△1	0		△12	21	
売上額																		
製造業については、生産品を出荷した額をお聞きしました。																		
好 転(A)	20	17	18	31	24	21	20	17	27	21	17	13	0	14	14	16	14	17
変わらず	54	54	63	59	47	55	43	59	63	50	54	61	83	79	79	57	50	64
悪 化(B)	26	29	19	10	29	24	37	24	10	29	29	26	17	7	7	27	36	19
DI値(A)－(B)	△6	△12	△1	21	△5	△3	△17	△7	17	△8	△12	△13	△17	7	7	△11	△22	△2
今－前 / 次－今	△6	11		△26	2		10	24		△4	△1		24	0		△11	20	
収益																		
売上から経費を引いた収益状況をお聞きしました。																		
増 加(A)	12	13	15	21	15	18	7	12	22	7	13	12	0	14	14	18	12	13
変わらず	60	55	62	69	61	58	63	56	66	57	52	58	92	79	79	51	48	63
減 少(B)	28	32	23	10	24	24	30	32	12	36	35	30	8	7	7	31	40	24
DI値(A)－(B)	△16	△19	△8	11	△9	△6	△23	△20	10	△29	△22	△18	△8	7	7	△13	△28	△11
今－前 / 次－今	△3	11		△20	3		3	30		7	4		15	0		△15	17	
雇用人員																		
需要に対応できる労働状況をお聞きしました。																		
多 い(A)	4	3	3	0	0	3	0	0	0	9	4	3	0	0	0	6	6	5
適 正	58	62	64	52	68	68	50	54	51	60	63	65	83	86	79	57	59	64
少 ない(B)	38	35	33	48	32	29	50	46	49	31	33	32	17	14	21	37	35	31
DI値(A)－(B)	△34	△32	△30	△48	△32	△26	△50	△46	△49	△22	△29	△29	△17	△14	△21	△31	△29	△26
今－前 / 次－今	2	2		16	6		4	△3		△7	0		3	△7		2	3	
資金繰り																		
資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きしました。																		
余裕がある(A)	8	9	8	14	12	12	3	2	5	5	10	7	0	0	0	14	12	9
支障がない	69	67	71	72	73	76	70	83	85	69	65	70	100	100	93	57	51	59
苦しい(B)	23	24	21	14	15	12	27	15	10	26	25	23	0	0	7	29	37	32
DI値(A)－(B)	△15	△15	△13	0	△3	0	△24	△13	△5	△21	△15	△16	0	0	△7	△15	△25	△23
今－前 / 次－今	0	2		△3	3		11	8		6	△1		0	△7		△10	2	

〈参考〉昨年同期と現在の景況感比較(回答230社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	37社	16%	16%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	120社	52%	57%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	73社	32%	27%
DI値(A)－(B)		△16P	△11P

